プログラム名	
	年中·年長 (4~6歳)
	・水の循環に気づこう
ね メッセージ ら	・雪の中でのくらしの大変さに気づこう
い 発見・体感 できること	・雪の冷たさ、やわらかさ、色、味など ・雪の結晶の形の多様性
参加者のめやす	幼 児 5~40 人 / 支援者 3 人
実施時間	3 0 分
フィールド	森· 社寺林· 山· 里山 川 湖· 池 田畑· 図庭・
実施可能時期	公園
自然を感じる ためのヒント	
時間	活 動 配慮・アドバイス アレンジ
1 8 分	降ってくる雪を体で感じる ・積もった雪に顔をうずめる ・降ってくる雪を口でキャッチ する ・降ってくる雪を素手で受け止 めてルーペで観察する ・雪のお布団ごっこ ・坂すべり ・雪だるまづくり ・雪だるまづくり ・雪たるまづくり ・雪たるまづくり ・雪合戦

年少:活動は晴れた日に限り、長時間にならないように留意する。

【園や家庭へ帰ってから】

氷を虫眼鏡で観察して雪の結晶と比べたり、お風呂の湯気を手やコップにあててみて水蒸気から水滴への変化をみるなど、水の形状の変化を観察してみましょう。

水の循環には何が必要か、みんなで話し合ってみましょう。(太陽、風など)

雨や雪は災害などにより人間の生活を脅かすこともありますが、人間も含めた生き物のいのち を支える水の恵みをもたらすものでもあります。多世代の人たちを交えて昔のくらしとの比較 をしてみましょう。

・ルーペ

・黒画用紙

・防水スプレー

準備物・ 教材等

・大小ビニール袋(大:坂すべり用。肥料袋が厚手でおすすめ)

- ・着替え
- ・室内へ戻ってから体を温めるための準備 (手を温めるための湯、温かい飲物、戻ってくる前に暖房を入れておく など)



